

【会場 小林小学校（7月16日開催）】 小林小学校・平尾小学校における学校配置の適正化にかかる説明会（ご質問と回答）

〔開催概要〕

・開催日時 令和6年7月16日（火） 19時00分～21時20分

・開催場所 小林小学校 多目的室

・参加者 地域・保護者の方々 67名

・説明者及び関係者

【大正区役所】 古川 区長、北吉 副区長、前田 ども・教育担当課長、二階 教育施策担当課長代理 外4名

【教育委員会事務局】 笹田 学校適正配置担当課長、岡永 学校適正配置担当課長代理、佐野 指導部指導主事

【小林小学校】 山本 校長

【ご質問と回答】

●小規模校のメリット・デメリットについて

項番	ご質問	回答
1	自分は団塊ジュニア世代なので、小規模校について心配はあるが、大人になったら6年間同じ人と働くというのはよくあることで、6年間同じ人と過ごすことが子どもたちにとって良いか悪いかは決めつけられないと思う。単学級についても不安はあるが、デメリットばかりではないと思う。統合ありきで話が進められているが、統廃合にかかる費用や時間を考えると、小規模のまま教員を増やすことはできないのか。	少人数学級を否定しているわけではなく、小規模校のデメリットが多いと考えている点をご理解願います。教員は、国の基準に基づき、学級数に応じた人数が配置されるものです。大阪市独自の加配を行うことについては、統合による財政効果インセンティブ制度を活用した加配は可能ですが、小規模であることを理由に市独自で教員加配を行うことは難しいと考えています。
2	学校にも色々なカラーがある。小規模校に勤めていたことがあるが、家庭的で優しい感じの学校で、統合してショックだった。児童数が少ないなりのカラーがあっても良いのではないか。	特色がある小規模校を否定しているわけではありません。市としては、一定の集団規模を確保する必要があると考えています。
3	少子化という日本全体の流れの中で、学校活性化条例ができて、こういうことが起こっていると思う。大正区の人口がだんだんと減って、そのうち高齢者ばかりになるのではないかと考えている。交通の問題や土地の問題などいろいろあると思うが、場当たり的ではない対応をお願いしたい。少人数で何が悪いのかと思う。早急に決めないでほしい。	小規模校においても良い面はあると認識しているが、児童数の減少により子どもたちの教育環境が確保できなくなるのが問題であることから、条例にもとづき一定の集団規模を確保したいと考えています。学校の適正規模については、この間、議論が積み重ねられて条例が改正され、今に至っている状況です。少人数学級の良さについては統合後の学校に継承しつつ、財政効果インセンティブ制度を活用して教員の加配を行うなどにより、よりよい教育環境としていきたいと考えています。

4	回答の中で、一定の集団規模という話が再三あり、大規模校なら体験できることが小規模校なら体験できないということと思うが、体験することが減ると人間形成にどのような支障をきたすのか、具体的に数字に出して示してほしい。例えば、1学年の児童数が10人と30人の場合、どのような体験が減るのか。それによって人間形成にどのような影響を及ぼしているのか。そういった資料を用意してほしいと思う。	どこまで数値化できるのかというのはあるが、例えば、適正な集団規模がどういものか説明を重ねられるよう、いただいたご意見は持ち帰らせていただきます。
5	子どもが小林小に通っているが、地域の方には見守りをいただいているし、先生も少人数できめ細かく温かく見てもらっていて感謝している。少人数だからといって経験させてもらえないといったことはないということを申し上げておきたい。	小林地域の方々が、登下校の見守りや子ども食堂をはじめ、子ども達のために色々な活動をしていただいていることについては、我々としても地域の方々のご尽力に感謝しています。「少人数だからといって経験させてもらえないといったことはない」と受け止めていただいていることについては、小林小学校の教職員の努力の賜であると認識しています。
6	資料には、小規模はダメだとか、市側に都合のいいことしか書いていないのではないか。例えば、パンフレット「子どもたちにより良い教育環境を」の6ページ「統合後の意見」では、統合して良かったことしか書かれていない。嫌だったという意見もあったはずで、いいことばかり書かれても判断できない。約5割の児童が「これまでより楽しく学校生活を送っている」とあるが、残りの5割は楽しく学校生活を送っていないということではないか。	当日配付資料では「小規模校のメリットとデメリット」としてメリット・デメリットの両方を記載しています。パンフレットに、統合してよくなかったという意見も紹介すべきだというご意見については、今後の資料作成の際の参考とさせていただきます。ただ、小規模校が悪いということではなく、小規模過ぎることが児童の教育環境にとって好ましくないことから適正配置の取組みを進めているところです。 (令和3年度・4年度に統合した学校の児童を対象に、統合の半年後に実施したアンケートでは、「これまでより楽しく学校生活を送っている」が54.3%、「これまでと変わらない」が32.9%、「これまでより楽しく学校生活を送っていない」が7.4%でした。)
7	田舎の小規模の学校で育った子どもと都会の大きな学校で育った子どもに違いはあるのか。例えば山の中や海辺の小さな村の学校で育った子どもは人間的に劣っているのか。	決して過疎地の学校が劣っているとの認識はなく、市内に山間部の学校もないので質問にお答えしかねます。本市として、子どものより良い教育環境としては、一定の集団規模が必要との認識のもとご説明させていただいています。

●教育内容について

項番	ご質問	回答
8	子どもが通学途中に学校が変わることになる児童の親です。支援学級への通級を考えているが、統合後の学校が楽しいかどうかは、子どもの特性を考えると不安に感じる。特別支援学級の場合、どのように統合していくのか、事例があれば教えてほしい。	小学校在籍中に学校が変わるかもしれないということと支援学級をお考えということで、環境が変わることについてご心配されていることと思います。統合までには時間があるので、通常学級の子どもも含め、環境の激変とはならないよう、統合前に交流する機会を設けるなど準備を行います。また、特別支援学級の児童が新しい環境に馴染んでいけるよう、児童個別の対応を先生が準備したうえで統合する形になります。
9	うちの子は小学校・中学校と不登校だった。支援学級にいたので、大人数のところにいたくなくて、少人数の方が対応できた。なので、大人数だからいいという訳でもないと思う。支援学級にいなかった時期もあったが、一番楽しかったのは小学校5・6年の特別支援学級にいた時だと言っていた。そういう意見は大事ではないか。	仰るとおり、発達障がい等のある子どもなど、少人数教育が合う子どももいます。その点については、特別支援教育と併用しながら児童に寄り添ったフォローをしていくことは可能と考えます。

●再編方法について

項番	ご質問	回答
10	環境面では、小林小はグラウンドも広いし、昭和山も近くにあり、消防署や警察署、下水処理場など学習できる施設が近くに多くあることから、子どもたちがのびのびと充実した学習を行うには小林小が適しているのではないかと思う。	平尾小学校に統合することについて、決定したものではありませんが、学校適正配置の考え方として、原則として児童数の多い学校の校舎を使用することを説明させていただきました。また、施設面で比較した場合、小林小学校の校庭の方が広いものの、小林小学校よりも平尾小学校の校舎の方が新しい状況にあります。
11	児童数の多い学校に統合するとの説明であったが、平尾小への統合で話が進められているのか。資料には「原則として」とある。小林小はグラウンドが広いのが魅力。過去に児童数が少ない学校に統合したという例はあるか。	児童数が少ない学校に統合したという例については、令和2年の条例改正以降では、義務教育学校生野未来学園が4小学校と1中学校の統合であることから、児童数によらず、小学校と中学校とが隣接しているところを校舎とした例はあります。
12	大正区全体の人口が減少し、中学校の生徒も減少してくると思うが、そのあたりどのように考えているのか。	大正区内の他の学校については、現段階では何も決まっていません。
13	校区変更は検討しているのか。	校区を変更することについては考えていません。

●小中一貫校について

項番	ご質問	回答
14	施設一体型の小中一貫校とする条件や理由などがあれば教えていただきたい。	施設一体型の小中一貫校については、小学校と中学校が同一敷地内で収容能力があるというのが前提としてあり、校舎や校地の状況などを勘案して検討していくこととなります。今回の小林小学校と平尾小学校の統合において、大正中央中学校との施設一体型小中一貫校の検討も行いましたが、小林小学校、平尾小学校、大正中央中学校のそれぞれの校舎・校地ですべての児童・生徒を1校に収容することができないため、選択肢から外さざるを得ないと考えています。今回の統合後は1小1中となるため、より一層、小学校と中学校が連携し、いわゆる小中連携の教育を行ってまいりたいと考えています。なお、パンフレットには小中一貫校や義務教育学校の事例はありますが、統合により、自動的に小中一貫校になるわけではないという点についてはご理解願います。
15	小中一貫校と義務教育学校の特性についても説明してほしい。	大阪市ではすべての小・中学校において小中連携した教育を進めています。施設一体型小中一貫校については、同じ施設の中に小学校と中学校があって、中学校の教師が小学生に対して授業を行ったりするといった形が一般的で、小中連携した教育のより進んだ形といえます。義務教育学校は、小学校と中学校ではなく、9年制の一つの学校ということで、中学校で学ぶ過程を早めるといった教育課程を実施できる、新たな形態の学校です。

●財政効果インセンティブ制度を活用した予算について

項番	ご質問	回答
16	財政効果インセンティブ制度を活用した予算について、2校統合で生まれた効果をすべて使えるのか。一部なのか。金額を教えてください。	2校を1校に統合した場合、一般的に人件費で年間約5,000万円の効果額があると試算しています。これを10年間学校教育環境の充実等に充てることができるもので、統合前に前倒しで充てることも可能です。

●通学路について

項番	ご質問	回答
17	児童数が多い平尾小に統合するとの説明であったが、登下校の安全面を考慮すると、大正通を越えてくる小林小の校区の方が危険ではないか。そこから平尾小に通うよりも、平尾から小林小に通う方が安全である。	統合後の通学路については、関係機関とも調整のうえ、地域の方々とよく話し合っ決めていきたいと考えています。

●標準服について

項番	ご質問	回答
18	子どもが小林小に通っており、統合予定が令和10年4月だと在学中に学校が変わることになるが、制服はどうなるのか。	標準服をどうするかについては検討会議で決めていくこととなりますが、統合により、デザインが変更になり、在学中に買い替えが必要となった場合は、保護者の負担とならないよう、行政が負担します。ただし、新たな学校の開校年度に新1年生となる児童の費用については、保護者の負担となります。

●まちづくりについて

項番	ご質問	回答
19	孫が平尾小に通っており、市営住宅ができれば引っ越してきたいと思っている。大正区では駅に近いところにはマンションができて、小学校も何クラスかあると聞いている。小林小周辺は小さいスーパーはあるが買い物に行くのも不便である。人数が少なくなったら統合、また平尾小が少なくなったらまたどこかと統合とか、そういうことではなくて皆が住みたいと思うようなまちづくりを充実しないと、どんどん人口が減少していく。小林のまちの活性化のことも考えてほしい。	駅前には利便性が良く人口が維持される傾向があるが、交通の便でみると、駅は大正区の北端にありバス便しかないのが現状です。シティバスとの間で10年間はバス便を減らさないことになっていますが、その後もバス便を維持していくためにも人口の維持は重要と考えています。駅前だけでなく、中心部や鶴町まで人口を維持できるよう、まちづくりに取り組んでいます。一例をあげると、千島公園一体で「大正トンボロマルシェ」を実施したが、このイベントを通じて大正区のことを好きになったという方が多く、移住してきた方もいます。全国的に人口は減少傾向にあるので、このような取組を通じて、人口が増えるまではいかないとしても、維持はできるよう一生懸命まちづくりをしているところです。
20	小林小に行きたいと思ってもらえる特色のある教育をしていく方が大事。学校の特色を作してほしい。小林小に行きたいと思う人が増えてもマンションなど住むところがないと問題になる。人が住める場所をもっと作っていくことが大事だと思う。	学校において特色を出して児童に選んでもらえるようにという議論は以前からあり、校長戦略予算の活用や学校案内においてPRするなど、学校において工夫されています。しかしながら、小林小学校の今後の推移を見ると、1学年1クラスという状況が続き、児童数が100人を切る見込みです。少人数というよりも小規模になるということが、子どもたちの教育環境として良くないと考えています。他の適正規模の学校ではクラス替えの経験や多くの児童を接する経験ができるのに、小規模校ではその環境を提供することができないなどの面を解消していく必要があると考えています。
21	小林小の北側に高層団地が完成する予定で、この辺りはアゼリア大正や図書館などがあり環境がいいので、若い人が流入するはずである。子どもが増えるのではないかな。	市営住宅の建替えについては都市整備局からも報告を受けているが、仮移転している方が戻ってきて入居する予定であり、空室は若干あると思うが、新たに子育て世帯が入居されるとは限らず、児童数の大幅増加は見込めない状況です。

●地域活動、災害時の避難場所について

項番	ご質問	回答
22	<p>小林に来てまだ数か月だが、子どもたちのことをこんなに考えてくれる地域の方々がいることがわかって、とても温かい気持ちになっている。小学校単位でまちづくり実行委員会があると聞いているが、地域はどうなるのか。あと、小学校は避難所として指定されているので、どうなるのか。平尾に行けばいいのか、そうすると平尾に避難する人が多くなるので運営は大丈夫なのか。統合後の災害時対応について教えてほしい。</p>	<p>地域活動について、学校が統合されるからといって、まちづくり実行委員会を統合するよう区役所から願うことはありません。小林小が災害時避難所となっていることについては認識しているが、地域の避難所をどう考えるかは、想定避難者数を収容できる避難所を地域の中でどのように確保していくのかという観点で検討することになります。</p>

●跡地活用について

項番	ご質問	回答
23	<p>他の区では学校跡地にマンションを建てて、結局、小学校が足りなくなったということも聞いている。なぜ子どもが増えないのかというのは今の説明だけではわからないので補足いただきたい。小学校は地域の宝である。子どもたちの声が聞こえなくなると、地域の活気がなくなるので、そういうことも考えていただきたい。</p>	<p>大正区の特徴として、借地が多いため、ファミリータイプのマンションが建つような土地があまりないといった点があります。稀に工場が売却されることがあるが、同系列の工場となったり倉庫になったりして都市計画はなかなかしにくい状況です。大きな土地があるとすれば学校跡地だが、跡地をどう活用するかについては、今後、地域の方々と時間をかけて話し合っていきたいと考えています。学校跡地については、以前は売却が基本でしたが、地域にとって大切な場所であるので、活用をしながら考えていくという方向に変わっています。生野区では、避難所の機能を残しつつ、事業者に貸付を行っている事例もあります。</p>

●子どもの意見について

項番	ご質問	回答
24	<p>学校の主役は子どもだと思う。子どもがどう感じるのか、自分が通っていた学校の前を通り越して違う学校へ行かなければならないということはつらいし、小林小も50年の歴史があるので、そういった点も大事にしてほしい。機械的に進めるのではなく、子どもの意見をもっと聞いてほしい。</p>	<p>子どもが主役というのはまさにその通りですが、その子どもたちの教育環境を確保することが重要であると考えています。学校統合前に統合について子どもたち一人ひとりの意見を聞くのは難しいので、子どもたちの気持ちを含め保護者や地域の方々からご意見をお伺いしたく考えております。</p>
25	<p>統合したらダメという訳ではないが、小林小の先生がどういう風な教育をしているかどこまで調べているのか。親は毎朝、心配しながら送り出す、見守り隊は登下校を見守る。そういうことをやっていることを調べているのか。</p>	<p>朝食欠食を無くすための月1回の「つつじ食堂」という取組に参加させていただいています。その中で感じたのは、今年の新1年生が11名ということで、教室の半分のスペースにしか子どもがいない状況は少ないと思いました。やはり、多様な考えに触れ、認めあい、互いに励ましあい、向上しあうには一定の集団規模が必要と考えています。統合に伴う不安については、財政効果インセンティブ制度を活用して、スクールカウンセラーの増員や通学路の安全対策を講じるといったことはできるので、今後地域の方々と話し合いを進めていきたいと考えています。</p>

26	子どもの意見を聞くのは難しいとの回答があったが、やはり子どもの意見は聞くべきではないか。子どもの権利条約ができて今年で30年になると思うが、子どもたちには意見表明権がある。学校の主役は子どもたちであるし、子どもたちが自分の通っている学校が無くなることについてどう思っているのか、一人ひとりに聞いてほしい。児童数が少なければ校長先生はすべての児童のことをわかるだろうし、諸外国では20人や25人の少人数学級で工夫している学校もたくさんある。	基本的な人権はとても大事であるし、子どもの権利条約ももちろん理解しています。ただ、子どもの意見を聞いたとしても、条例と違う適正化を進めてよいことにはなりません。子どもの権利を十分踏まえた上での条例の運用になっていることはご理解いただきたいと思います。今この事務を進めるにあたっては、子どもの意見を聞く方法は保護者の方々のご意見を踏まえて進めていくことだと思っています。
27	条例があるから進めざるを得ないと説明しているように思うが、子どもの権利条約や子ども基本法がある中で、子どもの権利は守らなければならない。なぜ大阪市の条例がこうだからできないとなるのか。	児童数の多い学校にも少人数学級にもそれぞれの良さがあると思うが、大阪市においては一定規模の集団を確保して、子どもにいろいろな体験をさせてあげたいという考え方にもとづき進めているので、その範囲内で議論していきたいと考えています。

●その他

項番	ご質問	回答
28	説明資料中、令和10年度の統合後の児童数が小林小と平尾小の児童数の合計より12名少ないが、統合したら人数が減るということか。	小林小と平尾小の児童数については、過去10年の学校ごとの増減率をもとに推計しています。統合後の児童数については、過去10年の区全体の増減率をもとに推計していることから、学校ごとの児童数の合計と、統合後の児童数の合計が合わないこととなっています。
29	この説明会の案内に平尾小には駐輪スペースがないと記載があったが、駐輪スペースがない小学校に統合されるのは困る。	平尾小に駐輪スペースがないという案内については、今回の説明会のお知らせにあたり、学校に確認のうえそのように記載したものです。
30	実際現場で見ている学校長の意見を伺いたい。	<p>(学校長)</p> <p>学校としては、統合について賛成・反対を表明はしませんが、小規模校だからできないといったことは無いようにしようと教職員一同頑張っているところです。</p> <p>(指導部)</p> <p>教師として関わってきた者としては、小規模校は少人数でまとまりやすくアットホームであるといったご意見もあるが、クラス替えができないので、1年から6年まで人間関係上のトラブルが発生した場合、それがずっと続いてしまう。音楽の合唱・合奏や体育での集団競技もなかなか制約があると思っている。今回の場合で言うと、小林小学校と平尾小学校それぞれの良さを持ち合わせて、保護者や地域の方々力を借りながらよりよい学校にしていくことができればと考えています。</p>